団体生命共済・

追加募集締切日 2024年12月15日 契 約 発 効 月 2025年2月 ※加入申し込みは、組合(単組)共済担当者まで

県 本 部機

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第856号 2024年(令和6年)

11月30日

福島市荒町1-21 自治労福島県本部

発行人澤村英行



第115回 定期大乡

多くの仲間がいわきに結集

可決決定した。いわき市での大で第115回定期大会を開催。 可決決定した。 自治労福島県本部 270名超の組合員が参加し、活気ある大会となった。 議論で2025年度運 での大会は9年ぶり、 10月11日~12日の日程で、いわき市 「2025年度運動方針(案)」 「スパリゾート など4件の 「スパリゾー **/**\ ワイアンズ」での開催は

組みの強化と県本部への ついて触れ、これら取り 政治闘争の推進の2点に 央執行委員長があいさ つ。2024確定闘争、 大会冒頭、 澤村英行中

年ぶり。

の内田広之いわき市長な 会長のほか、地元開催市 ど多くのご来賓からお祝 いの挨拶を頂いた。

結集を訴えた。

村ひとみ副中央執行委員 また、自治労本部・木 連合福島・澤田精一 度運動方針(案)」をは を得た後、 じめとする4つの議案に 執行部より「2025年 て執行部より提案。承認 報告・承認事項につい

ついて提案した。 議事に入り、 は、これら報告や議案に

2日間に渡り議論と交流を深めた。 執行部答弁、澤村委員長 対し、10名の代議員から 補強意見等の発言があっ からの総括見解の後、 た。鈴木茂書記長からの べての議案について、 可 す

前よりは改善されたこと

力強化の取り組み事例を

情報提供願いたい

組合の取り組みにより以

中途採用者の格付けも

決・承認された。

同学年の新卒採用者との などを知った。一方で、

各単組発言概要

されないことも知った。

今春闘の団交で、人事

較差は生涯にわたり解消



現在、労使

↑島田浩光代議員

現業職場では、

⇒松下義光代議員 (飯舘村職労)

を果たした。期間がない 中の推薦決定となった 推薦候補・杉岡誠氏が新 人候補に大差をつけ再選 飯舘村長選において 改めて結果について ↑折笠有基代議員 初任給改善を勝ち取っ

全体で270名が結集し、

(南相馬市職労)

報告させていただく。

中途採用のため、入庁 (会津若松市職労) イント賃金に到達してい 加。組合では組合員から たが、 の聴き取りと、 震災前より4倍近く増 ない。解決に努める。 どまる。合併後採用の職 本市の年間残業時間は 改善は若年層にと スローガ

傍聴と執行部を含め、

⇒佐々木洋介代議員

大会には代議員168名、

執行部は中途採用者の

賃金改善に本気で取り組

ところ、書記長から、

賃

超勤縮減にむけ

ことがわかった。今後も

んでいるのか」と訴えた

だが、執行委員になり

デーの声掛けに取り組ん

特定の部署が

給料が下がった立場

旗を掲げ、

ノー残

業 自治労表彰者

宏薫和幸一覧 大 塚 友 市職労 長谷川 方市職労 智 岸 照 山 菅 波 さん 和 知

第19年次地方自治研究レポート表彰

第3専門部会 「復興におけるまちづくりにかかわる 職員の現状について」 ∽震災・原発事故〜

県本部第35回機関紙コンクール審査結果

参加21単組 2 総支部31紙										
	賞	単 組 名					機関紙名			
最	優 秀	賞	伊	達	市	職	労	伊	達	結
優	秀	賞	須	賀	ШΨ	亍 職	労	速	報「若い	上 」
優	秀	賞	浅	川田	丁職	員組	[合	蕾	(っぽ	み)
佳		作	二女	本	松 ii 性	丁職	労 部	ハ	ーモニ	
佳		作	い青	わき	市年	職連	i 合 部	す	る	め
佳		作	会	津	総	支	部	あ	Λı	づ
努	力	賞	伊女	達	市性	職	労 部	ح	ؿ	L
努	力	賞	桑	折	町	職	労	自	治労ニュ	ース
努	力	賞	11	わき	市	職連	<u>[</u> 合	自	治労い	わき
努	力	賞	大	熊	町	職	労	自	治労おお	くま

県本部にも情報共有と

指導をお願いしたい。

費の削減やペーパーレス 昨年同額でよいのか。経 郵送料が値上げとなるが、 事初当選を果たした。 望によってはデータでの 候補の大寺正晃氏が、 の観点からも、単組の希 県本部予算案について、 見

須賀川市長選では推薦

(須賀川市職労) 安心して定年まで働き続 施されたが、継続した採 勝ち取るべく交渉を進め けられる職場環境改善を 用試験の実施が必要だ。 本年4名の採用試験が実 保が最重要課題である。

渉・妥結状況等の情報提 県本部には各単組の交

一り組む。 退職か、異動 る。当該職場の 定管理者制度 た。県の責任で、

おりの異動となるよう取 る。組合として、組合員 の意向確認を行ってき を迫られ 組合員は に移行す 希望ど

院が2025年度より指 若松乳児

を越えた課題である。自 慮願いたい。 治労の政治闘争に、改め 置づけて頂きたい。 て、地域医療の課題を位

16 で にできないか。

議案を絶対多数 トハワイアンズ

↑井上和弥代議員

の月例給・一時金ともに

する。全適移行により経 は手元資金が2年で枯渇

い経営状況。このままで

物価高騰

県の勧告は、

3年連続

ることも否めない。組織 感する。引継ぎがなされ 単組の組織力低下を痛 活動が形骸化してい 来年夏は参院選を迎え 要だ。衆院選もあるが、 を求める手段としても重 を内外に示し、組織強化 政治闘争は組織の団 (福島市職労) を全力で取り組む。 が、県職連合も確定闘争 大幅な引上げ。 下では不満も残る内容だ

2日にわたる大会で | 金改善のための協力を要

担っている。

請され、現在も執行部を

る。しっかり取り組みた る。交渉強化を図る。 事情を考慮すれば、独自 となったが、本市の財政 カットの可能性もありう 県の勧告は引上げ改定 人員確 ことが問題。改 強く求める。 県当局へ求めた。県の把 ハラスメントの対応を

と信じがたい回答。そも り方見直しで、 そも、パワハラ認定以前 握する相談件数は30件超 に、そうした声があがる 県立社会福祉施設のあ 認定されたのは0件 善を粘り

避けるため、県本部に なっていく。当該自治体 持って議論できるよう配 の職労と病職労の対立を

後、自治体財政の重荷に 本部などへの説明を始め 本部には情報の収集・共の波及が危惧される。県 ているが、自治体の裁量 有、指導をお願いしたい。 適は働く側にとって警戒 営自立を強いられ、設置 た。15年間、独自給与 者の自治体は負担を免れ すべき施策。他自治体へ カットが続いている。全 当単組も他の単組や県 公立病院の運営は今



⇒大内敦夫代議員 (県職連合)

届くことがあるが、共済 た、同日に複数の封筒が 願 いしたい。

↑関根佳菜美代議員 公立岩瀬病院は、厳し



提供としてはどうか。

ま

供と引き続きの

支援をお

(県職連合)

自治労福島県本部(2) ↓五十嵐久雄代議員

(喜多方市職労)

ことが大切だ。産別とし

ての意見反映と、真摯な

今月より、オルグを実施

入庁から半年経過の

明確なストーリーを示す

今年も、

目標には程遠

来年、団体生命共済の 務・職責の調査や分析 定年延長選択の割合

若年層の掛金引下げが完

では、

直営施設の

該

連合を6地域に集約する 都市部外の地区連合を支 のため、内局体制の強化 方の努力を踏まえれば無 議論が始まった。主な理 をお願いする。 よる単組活動の活性化_ 成する。運動方針強化の ため、議論をお願いする。 は、担い手不足だが、 連合福島では、17地区 組強計画の「県本部に 安の声が寄せられる。直 の本格稼働に係る説明が るたたかいを展開する。 当職場の組合員から、不 多くが「あり方見直し」 「廃止」と記載され、 営を堅持し、働く場を守 組合に対し、人事評価

の発展、拡大に寄与する

検討されている。改めて 給・勤勉手当への反映が った。評価結果の昇

一ある組織強化について、 交渉を求める。 当単組の最大の課題で

検討をお願いする。 ↓鈴木規睦代議員 公表された「個別施設 (いわき市職連合) 候補「かみかべ充」に大 きな支援を頂いた。今後 小泉 いわき市議選では協力 協力議員と連携し、 加入拡大を図る。 誠代議員

> から断固行わないこと」 等の制度破綻を招くこと

> > 超過勤務縮減の取り組み

との重点提言を政府へ提



国民目線で国保連合会

が必要な存在であること を発信していく。

執行部答弁

中途採用者の立場とのこ 採用者の格付け改善のた 響く要求はない。中途最 とだが、当事者の声ほど る。佐々木代議員自身が 公務員の事例が挙げられ 中途採用者の格付け改善 先進事例としては国家

支払機関」として、

国民 審査

国保連合会は、

皆保険制度を支えている。

国保は被保険者の高齢

所得が低い傾向、医

初任給の格付け改善 意に敬意を表する。 め、執行部に加わった決 県内の多くの単組は県

保険の適用拡大が進めば、

問題を抱えている。被用者

療費が高い等、

財政基盤や保険者機能に

致命傷となりかねない。

政治闘争

は推薦首長の確立だ。推 築のため、一番有効なの 係の成熟を期待する。 薦首長確立単組の労使関 民主的な労使関係の構 いわき市議選再選の上

る。全国市長会は「国保 についても触れられてい への加入に向けた見直し 決定した「改革工程」で 保·後期高齢者医療保険 生活保護受給者の国 改善は弱年層にとどまる の末、妥結した成果に敬 なっていない。南相馬の 意を表する。 とのことだが、労使交渉 職同等の初任給格付けに

ガン旗を掲げた声掛けは 成果を期待する。 であるのもよい。今後の 画期的。目に見える活動 南相馬市職労のスロー

組織強化の取り組み

の情報収集も行いたい。 師を派遣するし、好事例 く活動に取り入れてほし 業は組合活動への参加の い。県本部も学習会の講 ハードルを下げる。うま 福利厚生事業やレク事

が、まずは県職連合で完 大幅な引上げ勧告だ

職員を守る立場での対

をお願いしたい。 対応

壁充さんには、引き続き をお願いする。 本部方針に対するご理解 の連携をお願いする。 参院選にむけても、

予算案について

郵送メインとなっている。 去の検討経過を踏まえ、 支部とは費用按分の問題 昨年同額の判断。共済県 から同一封筒は不可。 郵送料は昨年実績から 過

現業・公企統一闘争

結集をお願いする。

2024確定闘争 引き続き、統一闘争への 職場課題解決にむけ、

全実施を勝ち取っていた 県内単組の交渉を

後押し願いたい。 ハラスメント対策

も、当局と連携し、 応は無論、個別案件に

を契機に、各単組での推

応を検討する。 要望を頂いたが

団体生命共済

改正が行われ、従来の一 律掛金から男女別年齢別 2022年6月に抜本

終的な掛金になる。これ 下げられるようになっ た。来年の10月発効で最 方は段階的に掛金が引き 掛金になり、50歳以下の

けや、衛生医療評議会と いる。全適の問題含め、 の連携を図りたい。 労使では限界もある話。 実態は県本部も認識して 政治闘争の中での位置づ 公立岩瀬病院の厳しい

定年延長

定年延長に係る調査の

今後対

いわき市の個別施設計

公立病院の全部適用

解。ただ、財政やなり手 運動が継承されるよう、 に再編されても、 不足を前面にした見直し 同じだが、人や財政が厳 しい連合福島の事情も理 思いは五十嵐代議員と

意見反映に努めたい

新規採用職員の組織化

地区連合の再編 進をお願いしたい。 い。各単組の協力がなく てはなしえないので、是 県本部も努力はしている 内局専従の選出に向け 協力をお願いしたい。 結果に結びつかな

求、

試行結果の検証も必

務貢献の概念はあるの という考えもあるし、公 然、4原則2要件の追 ていくことが必要。当 で、その考えを認めさせ

本格実施をするにして まずは勤勉手当から

認められるよう取り組み 例。本人の意向が最大限 画は、多くの自治体でも | タイミングでオルグを行 をお願いする。 る。県職連合からの報告 いよう取り組む必要があ 策定されている。分限免 人事評価制度 はまさしくそのような事 職や任用換えを迫られな 職連合のケースでは、 組みに敬意を表する。 一ういわき市職連合の取り 談記録をこまめにつけて り加入率がよい。地道な いる支部は、他の支部よ

取り組みが必要だ。

本部からは改めて「国保に賛成のようである。県 見を本部に提出した。各 | 労も大枠では連合の考え | 考えを示しており、自治 聴取を行うこと」との意 連労組協議会を通じ意見 める声が寄せられていた 県からも慎重な議論を求 被用者保険の完全適用の 被用者保険適用拡大等 連合も、全被用者への

入庁から半年を迎える | ことも報告する。

県公務員共闘会議 県庁前 場で6年ぶりの総決 起集会を開催

わせ、「2024秋季確 催した。県庁前広場での ら360名の組合員が参 員共闘総決起集会」を開 定闘争勝利!福島県公務 29日に副知事交渉に合 県公務員共闘会議は10 加した。 告の取り扱いが焦点とな 長は「県の勧告は月例 上げとなった。今後は勧 給・一時金とも大幅な引 さつに立った澤村英行議 集会冒頭、主催者あい 解散総選挙の執行

> 意を述べた。 ならない」との決

澤田精一会長、

して、連合福島

集会には来賓と

給与改定、差額支

給をさせなければ

デモ行進で賃上げを訴える

法改正の時期は

により、国の給

透明。1日も早

2,156票

48歳)

一郎氏

裕喜氏

124,441票

123,256票

96,814票

78,708票

※「比」は比例区で復活

当選

当選

比※

10/6 投票)

当選

投票)

斎藤

59歳

60歳

56歳

45歳

当選

飯舘村長選挙(9/28 告示

誠

10/27

前4

・前⑤

・新①

単独候補結果

32歳

杉岡

(無所属・現②



金子

小熊

第50回衆議院議員選挙

金子

玄葉光-

福島県選挙区結果

第1区

第2区 第3区

恵美氏

慎司 氏

恵美

慎司

(東北ブロック比例)

立憲民主党・前②

-郎

(10/15 公示

立憲民主党

立憲民主党

立憲民主党

立憲民主党

くの組合員を集めた県公務員共闘総決起集会

寄せた。 県本部組織内県議・半沢 賃上げ等を訴えた。 モ行進に出発。 雄助議員が駆け付け、激 子恵美代表代行、 励と連帯のメッセージを

答は「勧告を尊重する立 告。佐藤宏隆副知事の回 事務局長が交渉経過を報 ヒコールをあげながら、 渉団を送り出し、市内デ 参加者は副知事交渉の交 集会基調提起後、集会 大内敦夫 シュプレ 決議」を採択し、集会を 終えた。

定闘争勝利への機運を高 の久々の大衆行動は、 大勢の組合員を集めて 確

憲民主党県連・金 自治労一場で、国、他県の動向、 社会情勢、財政状況を踏

| 意表明の後、「2024 た、従前の考えを踏まえ まえ検討する」といっ 秋季確定闘争に勝利する が報告された。 た内容にとどまったこと その後、単産・単組決

一める取り組みとなった。